



令和3年度 卒塾式式辞
公益財団法人松下幸之助記念志財団 理事長 松下 正幸

松下幸之助記念志財団で理事長を務めます松下正幸でございます。

卒塾式開催にあたり、松下政経塾を代表しまして一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

本日は、卒塾生のご親族及び茅ヶ崎市の地域の皆様、また財団の役員、それから塾の卒業生の皆様にご臨席いただいております。誠に有難うございます。

本来であれば、松下政経塾との関わりの深い多くの皆様にもご案内したいところではございましたが、あいにくのコロナ禍のこともございまして、規模を縮小して実施するという苦渋の決断をせざるを得ませんでした。

それでも、式の規模は小さくとも多くの関係者が卒塾生の皆さんのことを心からお祝いしてくださっていることを、皆さんの心にとどめておいていただきたいと思います。

卒塾生の皆さん、改めて本日はご卒塾おめでとうでございます。

4年間という歳月は長いようで短かったのではないかと思います。

皆さんが、1年生の時に関西研修でパナソニック本社に来られて懇談をしてから、早くも4年近くが経とうとしているわけです。

その時はまだ、入塾して間もないころでもあり、初々しさや緊張感に満ちておりましたが、今皆さんを拝見すると、もう堂々とした顔つきで自信に満ち溢れ、今すぐにでも活躍できそうに思えるくらいでございます。

しかしながら、この4年の間に世界が大きく変わってしまいました。コロナウイルスによるパンデミックに何とか人類が折り合いをつけて、with コロナで社会を立て直そうかという矢先に、想像もしていなかった戦禍に見舞われようとしています。この先5年、10年の世界がどうなっているのか、全く予断を許さない状況



と言えるでしょう。

卒塾生の皆さんにはこの4年間に松下政経塾で学ばれたことに留まらず、松下幸之助塾主の経営理念や塾主が思い描いた理想の社会というものを礎として、素直な心で学び続け、それぞれの道で活躍していただくことを心よりお願い申し上げます。

ご清聴誠に有難うございました。

